

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ドル高円安 ポートフォリオ 円高ドル安 ポートフォリオ マネー・ ポートフォリオ	追加型投信／海外／その他資産／特殊型 (ブル・ベア型) 追加型投信／国内／債券
信託期間	3年間 (2015年2月9日～2018年2月8日)	
運用方針	ドル高円安 ポートフォリオ 円高ドル安 ポートフォリオ マネー・ ポートフォリオ	日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度となることをめざして運用を行ないます。 日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度逆となることをめざして運用を行ないます。 安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	ドル高円安 ポートフォリオ 円高ドル安 ポートフォリオ マネー・ ポートフォリオ	通貨オプション取引(選択権付為替予約取引)、わが国の債券およびダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券 イ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券 ロ. 円建ての債券
運用方法	ドル高円安 ポートフォリオ 円高ドル安 ポートフォリオ マネー・ ポートフォリオ	①主として、通貨オプションを利用するとともに、残存期間の短いわが国の債券およびマザーファンドの受益証券に投資し、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度となる投資成果をめざします。 ②通貨のプットオプションとコールオプションを組み合わせ、実質的な米ドル買い円売りの建玉を、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度にすることをめざします。 ①主として、通貨オプションを利用するとともに、残存期間の短いわが国の債券およびマザーファンドの受益証券に投資し、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度逆となる投資成果をめざします。 ②通貨のプットオプションとコールオプションを組み合わせ、実質的な米ドル売り円買いの建玉を、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度にすることをめざします。 ①マザーファンドの受益証券および円建ての債券を中心に投資することにより、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコモマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
組入制限	ドル高円安 ポートフォリオ 円高ドル安 ポートフォリオ マネー・ ポートフォリオ	・マザーファンド組入上限比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ 円高ドル安ポートフォリオ マネー・ポートフォリオ

運用報告書(全体版)

第2期

(決算日 2017年2月8日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブルベア・セレクト」は、このたび、第2期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4608>

<4609>

<4607>

★ドル高円安ポートフォリオ

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			米ドル為替レート		公 社 債 組入比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%	円	%	%	百万円
1 期末(2016年 2月 8 日)	9,674	0	△ 3.3	117.02	△ 1.6	60.3	230
2 期末(2017年 2月 8 日)	8,836	0	△ 8.7	112.45	△ 3.9	22.9	246

(注 1) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

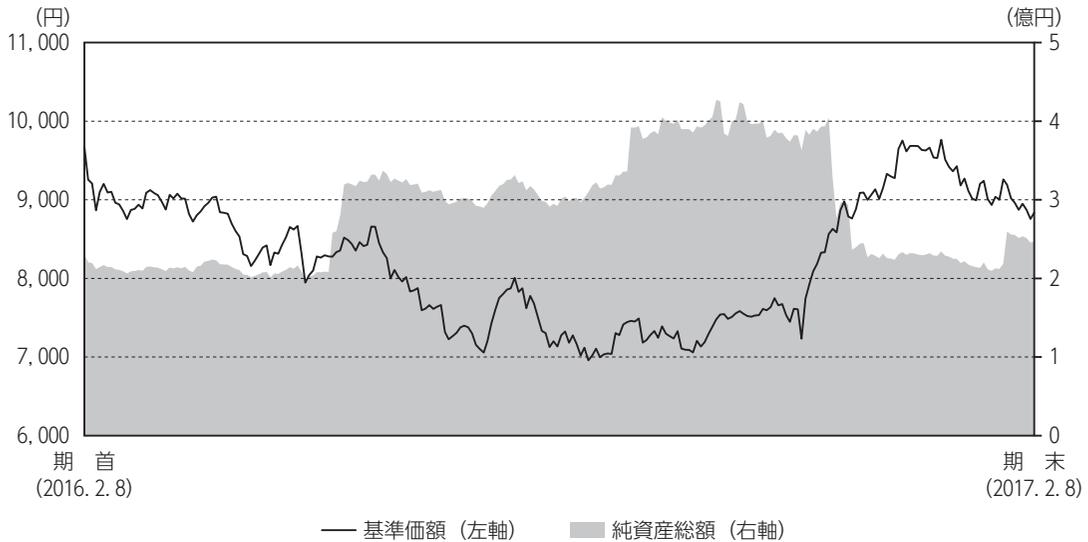
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,674円
 期末：8,836円
 騰落率：△8.7%

■ 基準価額の変動要因

主として、通貨オプション（選択権付為替予約）を利用するとともに、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券に投資し、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度となる投資成果をめざした結果、米ドルの対円での動きを反映して、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ

年 月 日	基 準 価 額		米ドル為替レート		公社債組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首)2016年2月8日	円 9,674	% —	円 117.02	% —	% 60.3
2月末	8,938	△ 7.6	113.62	△ 2.9	48.5
3月末	8,834	△ 8.7	112.68	△ 3.7	1.9
4月末	8,319	△ 14.0	109.75	△ 6.2	5.0
5月末	8,657	△ 10.5	110.94	△ 5.2	0.1
6月末	7,377	△ 23.7	102.91	△ 12.1	1.4
7月末	7,504	△ 22.4	104.42	△ 10.8	13.8
8月末	7,414	△ 23.4	103.18	△ 11.8	30.2
9月末	7,134	△ 26.3	101.12	△ 13.6	17.8
10月末	7,658	△ 20.8	104.86	△ 10.4	2.4
11月末	8,881	△ 8.2	112.42	△ 3.9	18.8
12月末	9,531	△ 1.5	116.49	△ 0.5	—
2017年1月末	9,021	△ 6.8	113.81	△ 2.7	21.7
(期末)2017年2月8日	8,836	△ 8.7	112.45	△ 3.9	22.9

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 2. 9 ~ 2017. 2. 8)

為替相場

期首より、日銀の追加緩和見送りや米国の早期利上げ観測の後退、また英国の国民投票でのEU（欧州連合）離脱派の勝利を受けた市場のリスク回避姿勢の強まりなどを背景に、円高米ドル安傾向で推移しました。2016年10月以降は、原油価格の上昇や米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安傾向に転じました。

前期における「今後の運用方針」

当ファンド

主として、通貨オプションを利用するとともに、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券に投資し、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度となる投資成果をめざします。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2016. 2. 9 ~ 2017. 2. 8)

当ファンド

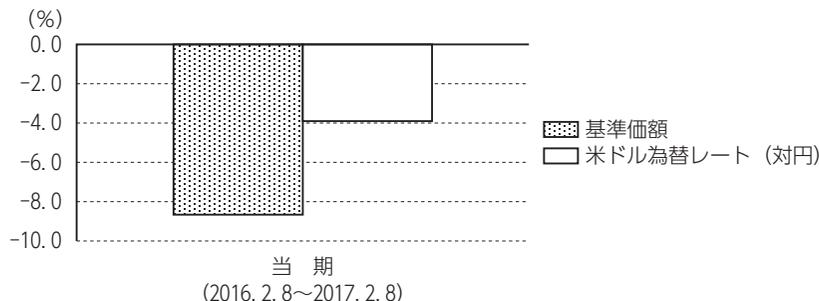
主として、通貨オプションを利用するとともに、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券に投資しました。また、通貨オプションの利用にあたっては、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度となる投資成果をめざして、米ドルコール円プットオプションの買いおよび米ドルプット円コールオプションの売りを組み合わせました。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当たり)

項目	当 期	
	2016年2月9日 ~2017年2月8日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		16

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

主として、通貨オプションを利用するとともに、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券に投資し、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度となる投資成果をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 2. 9～2017. 2. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	93円	1. 134%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 227円です。
(投 信 会 社)	(36)	(0. 432)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(53)	(0. 648)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(4)	(0. 054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	7	0. 080	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(6)	(0. 075)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	100	1. 214	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	175,323	176,000	199,579	200,340

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

銘 柄 別			コール プット別	買 建				売 建				期 末 評 価 額		
				新 規 買付額	決済額	権利行使	権利放棄	新 規 売付額	決済額	権 利 被行使	義務消滅	買建額	売建額	評価損益
国 内 通 貨	アメリカ・ドル	コール プット	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
						126	132	—	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	126	135	—	—	—	—	6	0

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
区 分	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	241,197	60,241	25.0	—	—	—
コール・ローン	7,306,711	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	199,240	174,985	175,615

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	175,615	67.9
コール・ローン等、その他	83,192	32.1
投資信託財産総額	258,807	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドにおいて行なった取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2016年2月9日～2017年2月8日）に該当した取引は、オプション取引（選択権付為替予約取引）が148件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、オプション取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、プットまたはコールの別、権利行使価格、権利行使期間その他当該オプション取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月8日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	258,807,548円
コール・ローン等	79,098,306
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	175,615,068
コール・オプション（買）	4,094,174
(B) 負債	11,956,424
プット・オプション（売）	6,415,342
未払解約金	3,536,683
未払信託報酬	1,798,827
その他未払費用	205,572
(C) 純資産総額（A－B）	246,851,124
元本	279,376,428
次期繰越損益金	△ 32,525,304
(D) 受益権総口数	279,376,428口
1万口当り基準価額（C/D）	8,836円

* 期首における元本額は238,147,179円、当期中における追加設定元本額は534,175,823円、同解約元本額は492,946,574円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,836円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は32,525,304円です。

■損益の状況

当期 自2016年2月9日 至2017年2月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 18,300円
受取利息	23,911
支払利息	△ 42,211
(B) 有価証券売買損益	△ 83,733
売買益	18,848
売買損	△ 102,581
(C) 先物取引等損益	8,998,034
取引益	131,868,997
取引損	△ 122,870,963
(D) 信託報酬等	△ 3,480,024
(E) 当期損益金（A+B+C+D）	5,415,977
(F) 前期繰越損益金	△ 4,975,009
(G) 追加信託差損益金	△ 32,966,272
(配当等相当額)	(1,075)
(売買損益相当額)	(△ 32,967,347)
(H) 合計（E+F+G）	△ 32,525,304
次期繰越損益金（H）	△ 32,525,304
追加信託差損益金	△ 32,966,272
(配当等相当額)	(1,075)
(売買損益相当額)	(△ 32,967,347)
分配準備積立金	459,268
繰越損益金	△ 18,300

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	459,268
(c) 収益調整金	1,075
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	460,343
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e-f）	460,343
(h) 受益権総口数	279,376,428口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★円高ドル安ポートフォリオ

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			米ドル為替レート		公 社 債 組入比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%	円	%	%	百万円
1 期末(2016年 2月 8 日)	9,814	0	△ 1.9	117.02	△ 1.6	55.0	82
2 期末(2017年 2月 8 日)	9,824	0	0.1	112.45	△ 3.9	21.5	134

(注 1) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

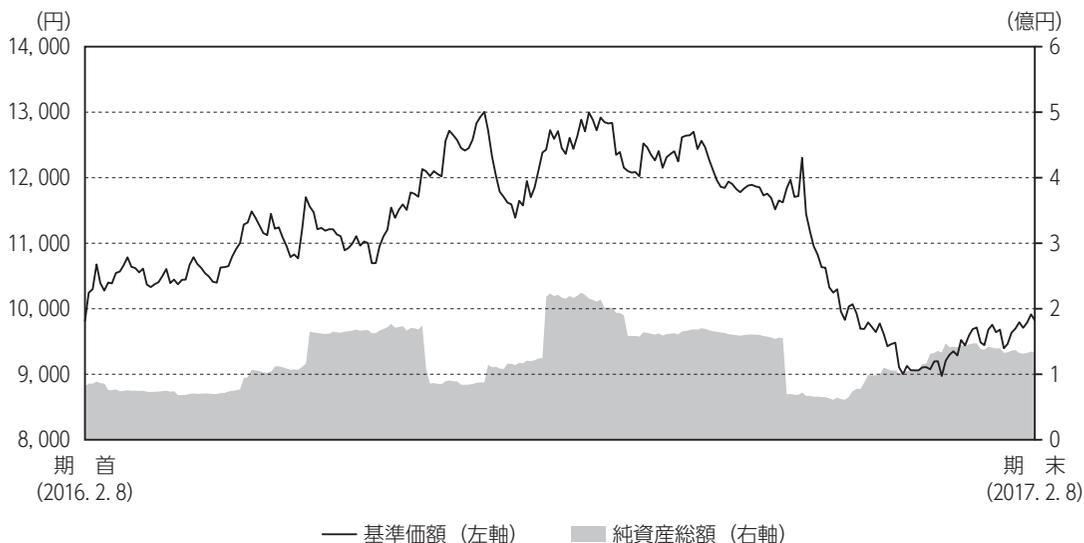
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,814円

期末：9,824円

騰落率：0.1%

■ 基準価額の変動要因

主として、通貨オプション（選択権付為替予約）を利用するとともに、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券に投資し、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度逆となる投資成果をめざした結果、円高米ドル安になったことがプラス要因となりましたが、日々の上下変動による長期的な下方バイアスと信託報酬等の影響により、基準価額はほぼ横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		米ドル為替レート		公社債組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首)2016年2月8日	円 9,814	% —	円 117.02	% —	% 55.0
2月末	10,555	7.6	113.62	△ 2.9	44.6
3月末	10,636	8.4	112.68	△ 3.7	1.9
4月末	11,204	14.2	109.75	△ 6.2	4.4
5月末	10,696	9.0	110.94	△ 5.2	0.1
6月末	12,454	26.9	102.91	△ 12.1	1.4
7月末	12,112	23.4	104.42	△ 10.8	12.5
8月末	12,154	23.8	103.18	△ 11.8	36.7
9月末	12,563	28.0	101.12	△ 13.6	16.7
10月末	11,651	18.7	104.86	△ 10.4	2.4
11月末	9,930	1.2	112.42	△ 3.9	18.6
12月末	9,199	△ 6.3	116.49	△ 0.5	—
2017年1月末	9,635	△ 1.8	113.81	△ 2.7	21.8
(期末)2017年2月8日	9,824	0.1	112.45	△ 3.9	21.5

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 2. 9 ~ 2017. 2. 8)

■為替相場

期首より、日銀の追加緩和見送りや米国の早期利上げ観測の後退、また英国の国民投票でのEU（欧州連合）離脱派の勝利を受けた市場のリスク回避姿勢の強まりなどを背景に、円高米ドル安傾向で推移しました。2016年10月以降は、原油価格の上昇や米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安傾向に転じました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として、通貨オプションを利用するとともに、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券に投資し、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度逆となる投資成果をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2016. 2. 9 ~ 2017. 2. 8)

■当ファンド

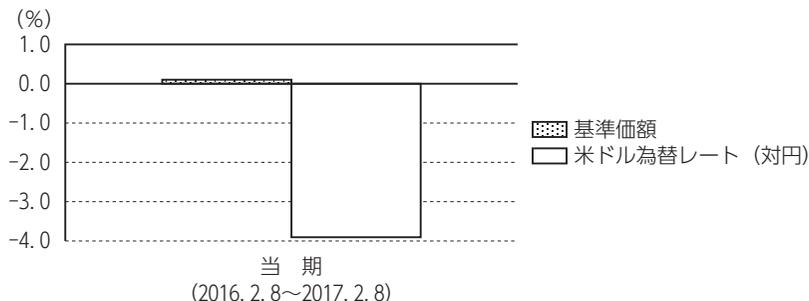
主として、通貨オプションを利用するとともに、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券に投資しました。また、通貨オプションの利用にあたっては、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度逆となる投資成果をめざして、米ドル putt 円コールオプションの買いおよび米ドルコール円 putt オプションの売りを組み合わせました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2016年 2月 9日	2017年 2月 8日
当期分配金 (税込み) (円)	—	—
対基準価額比率 (%)	—	—
当期の収益 (円)	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	—	503

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

主として、通貨オプションを利用するとともに、ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券に投資し、日々の基準価額の値動きが、米ドルの対円での値動きの2倍程度逆となる投資成果をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 2. 9~2017. 2. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	126円	1. 134%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11, 146円です。
(投 信 会 社)	(48)	(0. 432)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(72)	(0. 648)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(6)	(0. 054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	20	0. 178	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(19)	(0. 173)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	146	1. 312	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	218,157	219,000	193,648	194,385

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

銘 柄 別	コール プット別	買 建				売 建				期 末 評 価 額		
		新 規 買付額	決済額	権利行使	権利放棄	新 規 売付額	決済額	権 利 被行使	義務消滅	買建額	売建額	評価損益
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
国内通 貨	アメリカ・ドル	—	—	—	—	57	54	—	—	—	2	1
	コール プット	80	83	—	—	—	—	—	—	3	—	△0

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
区 分	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	241,197	60,241	25.0	—	—	—
コール・ローン	7,306,711	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	64,746	89,255	89,576

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	89,576	65.1
コール・ローン等、その他	48,120	34.9
投資信託財産総額	137,696	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドにおいて行なった取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2016年2月9日～2017年2月8日）に該当した取引は、オプション取引（選択権付為替予約取引）が238件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、オプション取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、プットまたはコールの別、権利行使価格、権利行使期間その他当該オプション取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月8日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	137,696,986円
コール・ローン等	44,537,936
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	89,576,579
プット・オプション（買）	3,512,471
未収入金	70,000
(B) 負債	3,421,039
コール・オプション（売）	2,241,606
未払金	176,500
未払解約金	9,914
未払信託報酬	791,753
その他未払費用	201,266
(C) 純資産総額（A－B）	134,275,947
元本	136,677,840
次期繰越損益金	△ 2,401,893
(D) 受益権総口数	136,677,840口
1万口当り基準価額（C/D）	9,824円

*期首における元本額は83,654,023円、当期中における追加設定元本額は353,106,707円、同解約元本額は300,082,890円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,824円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,401,893円です。

■損益の状況

当期 自2016年2月9日 至2017年2月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 7,646円
受取利息	13,046
支払利息	△ 20,692
(B) 有価証券売買損益	△ 14,594
売買益	21,112
売買損	△ 35,706
(C) 先物取引等損益	△ 4,496,108
取引益	51,112,477
取引損	△ 55,608,585
(D) 信託報酬等	△ 1,651,293
(E) 当期損益金（A+B+C+D）	△ 6,169,641
(F) 前期繰越損益金	239,204
(G) 追加信託差損益金	3,528,544
（配当等相当額）	（ 6,643,095）
（売買損益相当額）	（△ 3,114,551）
(H) 合計（E+F+G）	△ 2,401,893
次期繰越損益金（H）	△ 2,401,893
追加信託差損益金	3,528,544
（配当等相当額）	（ 6,643,095）
（売買損益相当額）	（△ 3,114,551）
分配準備積立金	239,204
繰越損益金	△ 6,169,641

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	6,643,095
(d) 分配準備積立金	239,204
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	6,882,299
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e-f）	6,882,299
(h) 受益権総口数	136,677,840口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★マネー・ポートフォリオ

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	純資産総額
	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	百万円
1 期末(2016年 2 月 8 日)	9,994	0	△ 0.1	41.7	2
2 期末(2017年 2 月 8 日)	9,995	0	0.0	22.6	179

(注 1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

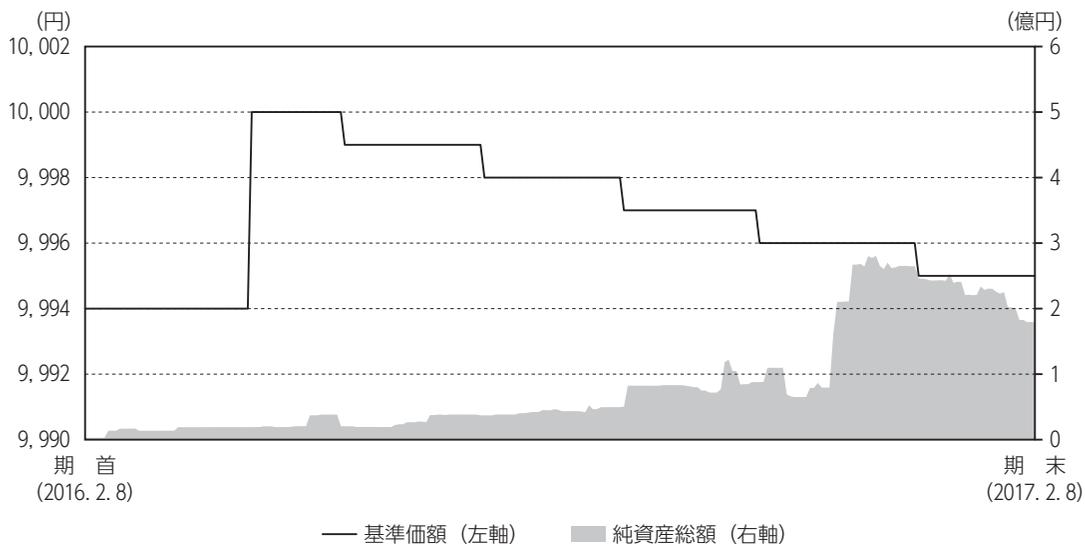
(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 3) 当ファンドは「ダイワ・ブルベア・セレクト」を構成するファンドのスイッチング資金を一時滞留させる受皿としての役割をもったファンドであり、円建ての債券を中心に安定運用を行ないます。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,994円

期末：9,995円

騰落率：0.0%

■ 基準価額の変動要因

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は横ばいでの推移となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ

年 月 日	基 準	価 額		公社債組入比率
		騰 落 率		
(期首)2016年2月8日	円	9,994	%	%
2月末		9,994	—	41.7
3月末		9,994	0.0	33.9
4月末		9,994	0.0	1.1
5月末		10,000	0.1	4.2
6月末		9,999	0.1	0.1
7月末		9,999	0.1	1.4
8月末		9,998	0.0	13.5
9月末		9,997	0.0	32.5
10月末		9,997	0.0	19.5
11月末		9,996	0.0	2.4
12月末		9,996	0.0	18.6
2017年1月末		9,995	0.0	—
(期末)2017年2月8日		9,995	0.0	21.9
		9,995	0.0	22.6

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 2. 9 ~ 2017. 2. 8)

国内短期金融市況

期首より、日銀はマイナス金利付き量的・質的金融緩和を継続し、2016年9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

前期における「今後の運用方針」**当ファンド**

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2016. 2. 9 ~ 2017. 2. 8)

当ファンド

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券へ投資を行ないました。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年2月9日 ～2017年2月8日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 2. 9～2017. 2. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	0円	0.000%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,997円です。
(投 信 会 社)	(0)	(0.000)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.000)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0.000)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	0	0.001	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	324,987	326,212	201,300	202,048

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	241,197	60,241	25.0	—	—	—
コール・ローン	7,306,711	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期 首 保 有 額	期 中 設 定 額	期 中 解 約 額	期 末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1	—	—	1	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1,494	125,181	125,631

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	125,631	70.0
コール・ローン等、その他	53,852	30.0
投資信託財産総額	179,484	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	179,484,353円
コール・ローン等	53,852,354
ダイワ・マネースtock・マザーファンド (評価額)	125,631,999
(B) 負債	65,581
未払解約金	65,246
その他未払費用	335
(C) 純資産総額 (A - B)	179,418,772
元本	179,511,316
次期繰越損益金	△ 92,544
(D) 受益権総口数	179,511,316口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,995円

* 期首における元本額は2,500,593円、当期中における追加設定元本額は516,033,338円、同解約元本額は339,022,615円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,995円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は92,544円です。

■損益の状況

当期 自2016年2月9日 至2017年2月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,405円
受取利息	9
その他収益金	7,930
支払利息	△ 14,344
(B) 有価証券売買損益	△ 13,708
売買益	10,642
売買損	△ 24,350
(C) 信託報酬等	△ 776
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 20,889
(E) 前期繰越損益金	9
(F) 追加信託差損益金	△ 71,664
(配当等相当額)	(125,031)
(売買損益相当額)	(△ 196,695)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 92,544
次期繰越損益金 (G)	△ 92,544
追加信託差損益金	△ 71,664
(配当等相当額)	(125,031)
(売買損益相当額)	(△ 196,695)
分配準備積立金	9
繰越損益金	△ 20,889

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	125,031
(d) 分配準備積立金	9
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	125,040
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	125,040
(h) 受益権総口数	179,511,316口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・ブルベア・セレクト）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2017年2月8日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を27ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2016年2月9日から2017年2月8日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605		
601 国庫短期証券 2016/7/19	18,510,383		
613 国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258		
611 国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394		
596 国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241		
642 国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144		
588 国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428		
609 国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187		
629 国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294		
610 国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年2月8日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（41,735,065千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2017年2月8日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 13,500,000	千円 13,500,297	%	%	%	%	%
			32.2	—	—	—	32.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年2月8日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	625 国庫短期証券	— %	千円 2,600,000	千円 2,600,004	2017/02/10	
	643 国庫短期証券	—	3,090,000	3,090,040	2017/02/13	
	645 国庫短期証券	—	7,810,000	7,810,251	2017/02/20	
合 計	銘 柄 数	3銘柄				
	金 額		13,500,000	13,500,297		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド 運用報告書 第7期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

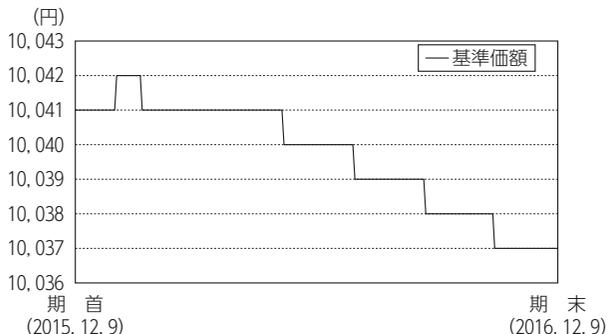
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	%	
(期首) 2015年12月9日	10,041	—	51.6
12月末	10,041	0.0	51.7
2016年1月末	10,042	0.0	90.7
2月末	10,041	0.0	51.1
3月末	10,041	0.0	2.0
4月末	10,041	0.0	7.5
5月末	10,040	△ 0.0	0.1
6月末	10,040	△ 0.0	2.0
7月末	10,039	△ 0.0	19.3
8月末	10,038	△ 0.0	46.5
9月末	10,038	△ 0.0	26.0
10月末	10,037	△ 0.0	3.4
11月末	10,037	△ 0.0	26.6
(期末) 2016年12月9日	10,037	△ 0.0	29.1

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,041円 期末：10,037円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買付額	売付額
国	国債証券	千円	千円
国内	国債証券	215,986,756	2,822,446 (233,210,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

当		期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575 国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
601 国庫短期証券 2016/7/19	18,510,383	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
613 国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
611 国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394		
596 国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241		
588 国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428		
609 国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187		
629 国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294		
610 国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152		
619 国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作成期	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちB格以下組入比率	残存期間別組入比率				
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満		
国債証券	12,370,000	12,370,239	29.1	—	—	—	—	29.1	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

当		期		末	
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	—	7,380,000	7,380,059	2016/12/12
	634 国庫短期証券	—	2,070,000	2,070,043	2016/12/19
	635 国庫短期証券	—	2,920,000	2,920,135	2016/12/26
合計	銘柄数	3銘柄			
	金額		12,370,000	12,370,239	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,370,239	27.2
コール・ローン等、その他	33,049,576	72.8
投資信託財産総額	45,419,816	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	45,419,816,005円
コール・ローン等	33,049,294,532
公社債（評価額）	12,370,239,552
その他未収収益	281,921
(B) 負債	2,970,027,930
未払金	1,470,027,930
未払解約金	1,500,000,000
(C) 純資産総額（A－B）	42,449,788,075
元本	42,294,564,193
次期繰越損益金	155,223,882
(D) 受益権総口数	42,294,564,193口
1万口当り基準価額（C/D）	10,037円

*期首における元本額は62,535,131,959円、当期中における追加設定元本額は110,785,944,225円、同解約元本額は131,026,511,991円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-49,795,838円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）999円、アジア高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）999円、U.S短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）3,988,832円、U.S短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）4,984円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）-ロボテック（年1回）-（為替ヘッジあり）3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス13,026,074,887円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス7,057,921,466円、ダイワ上場投信-TOPIXレバレッジ（2倍）指数1,434,536,786円、ダイワ上場投信-TOPIXダブルインバース（-2倍）指数757,087,194円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス11,055,796,865円、ダイワ上場投信-TOPIXインバース（-1倍）指数2,230,635,146円、ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス901,494,652円、ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス4,402,808,262円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス313,802,045円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016-10 997円、ダイワ・プルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ185,052,355円、ダイワ・プルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ160,376,323円、ダイワ・プルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ76,963,963円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー・ポートフォリオ-SLトレード-48,811,188円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の槌音（つちおと）-11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ395,846,364円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ91,481,943円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース（毎月分配型）4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）4,981,569円、ダイワU.S短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グロー

バル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ/ミレニアセット 亜細亜株式ファンド9,958,176円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）-ロボテック（年1回）-100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）2,088,438円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）1,012,911円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想配分金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想配分金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想配分金提示型 ブラジル・レアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想配分金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想配分金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,210,382円
受取利息	△ 3,627,074
その他収益金	281,921
支払利息	△ 12,865,229
(B) 有価証券売買損益	△ 1,217,528
売買益	236,035
売買損	△ 1,453,563
(C) その他費用	△ 176,405
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 17,604,315
(E) 前期繰越損益金	256,659,974
(F) 解約差損益金	△ 525,706,324
(G) 追加信託差損益金	441,874,547
(H) 合計（D+E+F+G）	155,223,882
次期繰越損益金（H）	155,223,882

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。